

## 第4章

### 温室効果ガスの削減目標

## 第4章 温室効果ガスの削減目標

### 1 削減目標の基本的な考え方

本計画において、温室効果ガスの削減目標は、国・北海道の地球温暖化対策の状況や本市の温室効果ガスの排出状況を踏まえ、本市として達成すべき数値として位置づけ、次の基本的な考え方に基づき設定します。

- ① 国が新たな地球温暖化対策に係る基本方針を打ち出した場合は削減目標の見直しを検討することを留保したうえで、「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ\*」（2010（平成 22）年 3 月発表）で示されている削減目標を基本として、中期目標および長期目標を設定する。
- ② 吸収源・排出量取引分については、地域における温室効果ガス削減対策が満たない場合の補完的対策と捉え、国が新たな地球温暖化対策に係る基本方針を打ち出した場合は削減目標の見直しを検討することを留保したうえで、温室効果ガス削減ポテンシャルを基準とした対策を推進することとし、目標設定に吸収源・排出量取引分を含めないものとする。

函館市の温室効果ガス排出量の現況値と将来推計値を表 4-1 に示します。また、同表に参考として市民 1 人当たり排出量の現況値と将来推計値も示します。

表 4-1 函館市の温室効果ガス排出量の現況値と将来推計値

区分	基準年	2007 年度	2012 年度	2020 年度	2050 年度
温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	2,666,196	2,460,270	2,355,389	2,255,639	1,556,804
基準年比増減率 (%)	—	-7.7	-11.7	-15.4	-41.6
1 人当たり排出量 (t-CO <sub>2</sub> /人・年)	8.11	8.55	8.76	9.07	9.84
基準年比増減率 (%)	—	+5.4	+8.0	+11.8	+21.3

※基準年・2007（平成 19）年度は実績値，2012（平成 24）年度・2020（平成 32）年度・2050（平成 62）年度は推計値。

## 2 温室効果ガスの削減目標

本市の短期・中期・長期の削減目標を示します。

### (1) 函館市の温室効果ガス排出量の削減目標および必要削減量

短期目標は京都議定書の削減目標を参考に、中期目標および長期目標については「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ」をもとに設定するものとします。それぞれの目標年度における削減目標を表4-2に示します。

ここで、京都議定書の削減目標は基準年比-6%ですが、本市では2012（平成24）年度において既に基準年比-11.7%に達することが推計されることから、更なる削減を達成するために-15%を目標とします。

表4-2 函館市の温室効果ガス削減目標

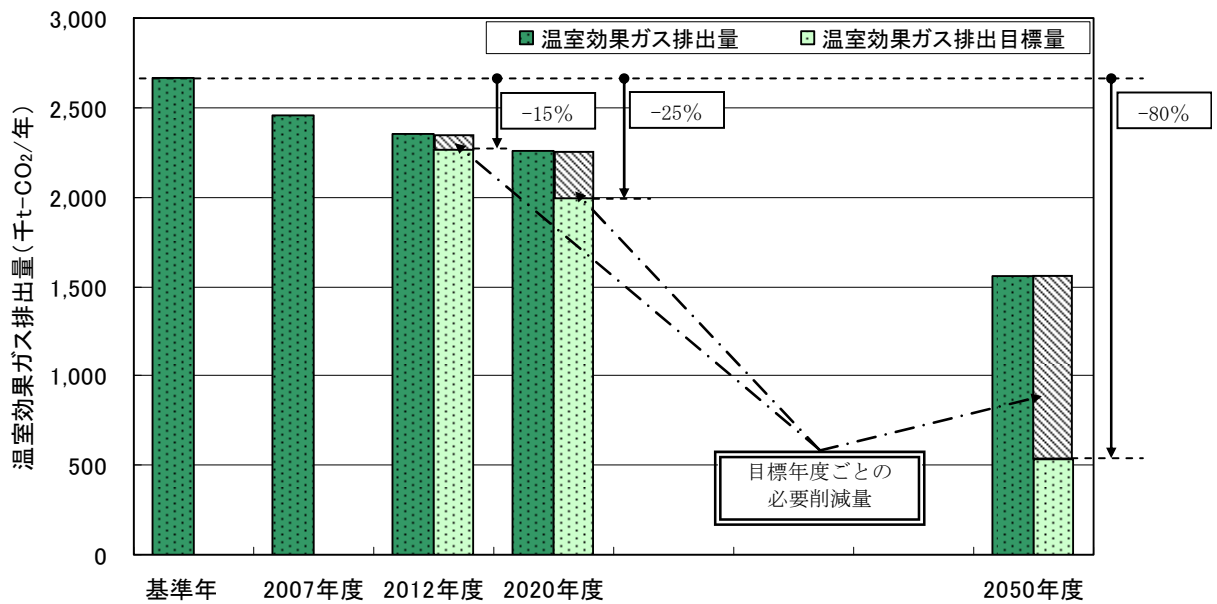
目標年		削減目標	備考
短期目標	2012年度	基準年比-15%	現況から市独自に設定
中期目標	2020年度	基準年比-25%	「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ」に準拠
長期目標	2050年度	基準年比-80%	「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ」に準拠

各目標年の排出目標量および必要削減量を表4-3および図4-1に示します。

表4-3 函館市の各目標年の温室効果ガス排出目標量・必要削減量

区分	基準年	2007年度	2012年度	2020年度	2050年度
温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年) [A]	2,666,196	2,460,270	2,355,389	2,255,639	1,556,804
削減目標 (基準年比；%)	—	—	-15%	-25%	-80%
温室効果ガス排出目標量 (t-CO <sub>2</sub> /年) [B]	—	—	2,266,267	1,999,647	533,239
必要削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年) [A-B]	—	—	89,122	255,992	1,023,565

※基準年・2007（平成19）年度は実績値、2012（平成24）年度・2020（平成32）年度・2050（平成62）年度は推計値。



※基準年・2007（平成 19）年度は実績値，2012（平成 24）年度・2020（平成 32）年度・2050（平成 62）年度は推計値。

図 4-1 函館市の温室効果ガス削減目標

(2) 部門別の排出目標量

各目標年の部門別排出目標量を表 4-4 に示します。

表 4-4 各目標年の部門別排出目標量 (単位：t-CO<sub>2</sub>/年)

区分	基準年	2007 年度	2012 年度	2020 年度	2050 年度	
二酸化炭素	産業部門	876,123	533,929	493,910	445,509	-
	民生家庭部門	592,771	625,421	583,482	520,601	-
	民生業務部門	491,554	473,718	447,336	409,141	-
	運輸部門	643,124	728,439	655,863	558,503	-
	廃棄物	0	29,302	26,665	22,270	-
	計	2,603,572	2,390,809	2,207,256	1,956,024	-
二酸化炭素以外	メタン・一酸化二窒素	61,790	31,788	30,858	29,748	-
	代替フロン*等 3 ガス	834	37,673	28,153	13,875	-
	計	62,624	69,461	59,011	43,623	-
合計	2,666,196	2,460,270	2,266,267	1,999,647	533,239	

※基準年・2007（平成 19）年度は実績値，2012（平成 24）年度・2020（平成 32）年度・2050（平成 62）年度は目標値。

## (3) 1人当たりに換算した場合の温室効果ガスの排出目標量（指標）

市民1人当たりに換算した場合の温室効果ガスの排出目標量を表4-5に示します。短期目標年である2012（平成24）年度においては8.43t-CO<sub>2</sub>/人・年、中期目標年である2020（平成32）年度では8.04t-CO<sub>2</sub>/人・年、長期目標年である2050（平成62）年度では3.37t-CO<sub>2</sub>/人・年となります。

表4-5 1人当たりに換算した場合の温室効果ガスの排出目標量（指標）（単位：t-CO<sub>2</sub>/年）

区分	基準年	2007年度	2012年度	2020年度	2050年度	
温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> /年）	2,666,196	2,460,270	2,266,267	1,999,647	533,239	
1人当たり温室効果ガス排出量	8.11	8.55	8.43	8.04	3.37	
うち1人当たり二酸化炭素排出量	7.92	8.31	8.21	7.87	-	
内訳	産業部門	2.66	1.86	1.84	1.79	-
	民生家庭部門	1.80	2.17	2.17	2.09	-
	民生業務部門	1.50	1.65	1.66	1.65	-
	運輸部門	1.96	2.53	2.44	2.25	-
	一般廃棄物の焼却	0.00	0.10	0.10	0.09	-

※基準年・2007（平成19）年度は実績値，2012（平成24）年度・2020（平成32）年度・2050（平成62）年度は目標値。